

平成 29 年度 全日本学生柔道体重別選手権大会（男子 36 回 女子 33 回） 大会要項

1. 大会名 平成 29 年度 全日本学生柔道体重別選手権大会（男子 36 回 女子 33 回）
2. 主催 (一社) 全日本学生柔道連盟、朝日新聞社
3. 主管 東京学生柔道連盟
4. 後援 スポーツ庁、東京都、(公財) 日本武道館、(公財) 講道館、(公財) 全日本柔道連盟、(公財) 東京都柔道連盟
5. 期間 平成 29 年 9 月 30 日 (土) 男子：60 kg級、66 kg級、73 kg級、81 kg級 女子：63 kg級、70 kg級、78 kg級、78 kg超級
開場：午前 8 時 00 分 開会式：午前 9 時 00 分 試合開始：午前 9 時 30 分
平成 29 年 10 月 1 日 (日) 男子：90 kg級、100 kg級、100 kg超級 女子：48 kg級、52 kg級、57 kg級
開場：午前 8 時 00 分 試合開始：午前 9 時 00 分

6. 会場 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園 2-3

7. 競技規則

(1) 参加資格

- ①(一社)全日本学生柔道連盟の法人正会員たる柔道部の在籍者であり、かつ、(公財)全日本柔道連盟に登録した者。
- ②国公立大学又は短期大学などに在籍の学生。
- ③各地区学生柔道連盟から推薦された者。
- ④在学中、実業団その他の職域チームに属している者は、その大会(試合)に出場していない者。
- ⑤2 年次においては 1 年次の総修得単位が 20 単位以上の者。3 年次においては 1 年次及び 2 年次の総修得単位が 40 単位以上の者。但し、特例措置対象者は除く。(詳細は別紙)

(2) コーチ資格

コーチ席に帯同する部長・監督・コーチは、全柔連公認指導者資格の A 指導員もしくは B 指導員の資格を有していなければならない。

(3) 試合方法

本大会は、両日ともに 6 試合場にてトーナメント方式で実施する。

(4) 審判規定

本大会は、国際柔道連盟試合審判規定を準用する。

なお、試合運営上、審判員は 4 審制(ジュリーを含む)とする。

(5) 柔道衣

本大会で着用する柔道衣は、(公財)全日本柔道連盟の柔道衣規定に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)とする(別紙参照)。

なお、柔道衣の規格については、厳守しなければならない。

※今年度は、「青ラベル」の柔道衣は着用可とする。

※本大会は、「青柔道衣」を採用する。また女子の帯は白線なしの黒帯とする(別紙参照)。

(6) ゼッケン

出場選手は所定のゼッケンを柔道衣につけること(詳細は別紙)。

8. 各地区出場枠

<男子>

- ①各地区連盟の男子出場選手数の階級配分は、原則として、各階級 1 名以上を配分するとともに、各地区連盟が下記の総出場枠数内で決定する。
- ②前年度優勝者及び準優勝者は主催者推薦選手とする。ただし、該当者が出場しない場合は各地区枠に充当できる。
- ③今年度世界選手権大会に日本代表として出場する学生は、主催者推薦選手とする。
また、日本代表以外の当連盟登録選手についても、6 月末の世界ランキングが 50 位以内で世界選手権大会に出場する選手は、主催者推薦選手とする。ただし、この条件で推薦を得た選手の大会出場の表明は、申込締切日までとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
23	23	23	48	94+7	24	47	24	29	342+14

<女子>

- ①各地区連盟の女子出場選手数の階級配分は、原則として、各階級 1 名以上を配分するとともに、各地区連盟が

下記の総出場枠数内で決定する。ただし、ある階級に出場者がいない場合は、総枠人数内で他の階級に出場枠を割り当てることができる。

②前年度優勝者及び準優勝者は主催者推薦とする。ただし、該当者が出場しない場合は各地区枠に充当できる。

③今年度世界選手権大会に日本代表として出場する学生は、主催者推薦とする。

また、日本代表以外の当連盟登録選手についても、6月末の世界ランキングが50位以内で世界選手権大会に出場する場合は、主催者推薦とする。ただし、この条件で推薦を得た選手の大会出場の表明は申込締切日までとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
14	17	17	30	29+7	16	20	21	19	190+14

9. 選手計量

計量は、それぞれの階級の試合前日に行う。

日時：9月29日（金） 予備計量 午後3時30分～4時00分 公式計量 午後4時00分～4時30分

会場：男子 講道館5階少年部道場 女子 講道館新館第4会議室

日時：9月30日（土） 予備計量 午後3時30分～4時00分 公式計量 午後4時00分～4時30分

会場：男子 日本武道館地下2階東側ロッカー 女子 日本武道館地下2階西側ロッカー

10. 表彰

各階級優勝、準優勝、第3位（2名）の各選手を表彰する。

11. 審判員

審判員の総数は54名とし、必ず女性審判員を含むこととする。

各地区の柔道連盟は下記人数の審判員を帯同することとする。

[（公財）全日本柔道連盟派遣審判員6名以内（審判長含む）、

東京17名、関西10名、関東11名、北海道・東北・北信越、中国四国・九州 各2名、東海1名]

12. 参加申込

(1) 申込先

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内 東京学生柔道連盟

TEL 03-3213-7106 FAX 03-3287-3282

(2) 申込期日

WEB申込期日 平成29年9月4日（月）～6日（水）

書類郵送期日 平成29年9月6日（水）午後5時必着

(3) 申込方法

参加申込責任者は各大学監督とし、WEBにて申し込みを行う（P.15を参照）。

(4) 参加費

参加選手1名につき4,000円とする。※各地区学生柔道連盟がその地区出場大学の参加費を取りまとめて、9月6日（水）正午までに下記口座へ振り込むこと。振り込みが確認できない場合は、本大会の参加を認めない。

参加費は各地区連盟の指定先へ振り込むこと。

<振込先>三井住友銀行 小石川支店 (813) 普通 428679 (一社) 全日本学生柔道連盟 会長 沖永 佳史

(5) IDカード

IDカードの作成方法は別紙を参照すること。

なお、下記の基準により、出場選手数に応じたコーチ席入場用IDカードの追加発行ができる。

出場選手数：5～9名 …+1枚

10～14名 …+2枚

15名以上 …+3枚

(6) 選手変更

各地区学生柔道連盟は、9月27日（水）午後5時までに変更選手に関する必要書類を提出することにより、選手変更を認める。

なお、上記期日以降の選手変更は認められない。

また、抽選会以降の推薦選手の選手変更は認められない。

※必要書類とは、変更用紙、変更前選手の辞退理由書（怪我・病気の場合は診断書も添付）、変更選手の在学証明書（1年生と4年生のみ提出）、健康診断書、IDカード用写真とする。

13. 組み合わせ

本大会組み合わせ抽選会は、（一社）全日本学生柔道連盟役員立ち会いのもと東京学生柔道連盟により行う。

日時：平成29年9月16日（土）午前10時～ 男子 60kg級～100kg超級 女子 48kg級～78kg超級

会場：講道館新館2階教室

シート基準：シート基準は別紙による。

14. 審判員会議

日時：平成29年9月29日（金）午後4時～

会場：講道館内

15. 審判員集合

日時：平成29年9月30日（土）午前8時30分

16. 監督会議

日時：平成29年9月29日（金）午後5時30分～ 会場：講道館 新館2階教室

※監督会議では、大会上の注意事項についての伝達や、IDカード、プログラム等の配布などを行うので、申込時に登録した部長・監督・コーチのいずれか1名が出席すること。出席できない場合には委任状（P.36）を提出すること（学生に対する委任は不可）。

なお、無断欠席した場合には、大会の出場が認められないことがあるので注意すること。

17. 安全対策

本大会主催者は、大会出場選手に対する傷害保険に必ず加入するとともに救急指定病院の手配を行う。

また、試合場に医師を配置し必要に応じて応急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。

なお、大会当日、出場選手は必ず保険証を持参すること（コピーの保険証は不可）。

18. 練習会場

講道館にて、9月29日（金）午後1時～午後4時、9月30日（土）午前10時～午後4時の間練習を行うことができる。

上記練習会場での練習を希望する大学は、別紙所定の用紙にて9月6日（水）午後5時までに主管事務局である

東京学生柔道連盟へ申し込むこと。

※事前申し込みのない大学の選手は上記練習会場の利用はできない。

19. 大会事務局

主催事務局：〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館内 （一社）全日本学生柔道連盟

TEL 03-3818-1587 FAX03-3818-1960

主管事務局：〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内 東京学生柔道連盟

TEL 03-3213-7106 FAX 03-3287-3282

※質問・問い合わせ等は、すべて主管事務局である東京学生柔道連盟に行うこと。

20. その他

(1) 脳振盪の対応について

選手および指導者は下記事項を遵守すること

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(2) 皮膚真菌症について

皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。

感染が疑わしい、もしくは感染が認められた選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。

選手に皮膚真菌症の感染が認められた場合は、その選手の本大会への出場を禁止する。ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める。

(3) 採用試験における計量時間の延長について

原則として、採用試験において正規の公式計量の時刻に間に合わない場合、9月27日（水）までに主管事務局まで必要書類を提出することにより、計量時間の延長（1時間）が認められる。

※必要書類とは、採用試験を実施する機関からの通知文のコピー等をいう。

(4) 個人情報取り扱いについて

①WEBでの申込に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、または動画が、大会プログラム、大会ホームページ等に掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合があります。

②提出された個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはありません。

③WEBでの申込により、上記①、②の取り扱いに関する承諾を得たものとして対応をさせていただきます。

※個人情報取り扱いについて不明な点等がある場合は、（一社）全日本学生柔道連盟事務局にお問い合わせください。

以上

全日本学生柔道体重別選手権大会ルール上のポイント

○試合時間：男子・女子ともに4分

○技の判定1：「一本」、**「技あり」**

○技の判定2：「技あり」の累積による「合わせて一本」 → 廃止

○抑え込みの判定：10秒 → 「技あり」

20秒 → 「一本」

○反則基準1：「指導」×3回 → 「反則負け」（「指導」×2回まで → 勝敗の基準としない）

○反則基準2：脚や下穿に触れる行為 → 1回目は「指導」、2回目は「反則負け」

○反則基準3：取が組手のない状態から両手で相手に抱き着く行為（ベアハグ） → 「指導」

○反則基準4：背中からの着地を避けるため、倒れた際に両肘をついて着地した場合

→ 「技あり」を与えることができる

背中からの着地を避けるため、倒れた際に片肘をついて着地した場合

→ 技の効力を認めない

○判定基準：「技あり」以上もしくは「反則負け」

○勝敗基準1：両者にスコアがない、もしくはスコアが同等、もしくは「指導」×2まで → 「引き分け」

○勝敗基準2：「引き分け」の場合 → 直ちにゴールデンスコアによる延長戦を実施

※延長戦は、それまでのスコアおよび罰則を反映させて実施

以上